WA・A DESIGN PROJECT　第２回目ミーティング　報告

日時：2012 年 9 月 12 日（水）19:00～

場所：角田邸

出席者（敬称略　あいうえお順）：11 名

網村眞弓、安東薫、五十嵐琉美、鬼頭 孝子、栗原亜紀子、高桑郁代、角田嘉代子、丹羽ちせこ、原口恭子、細井絵理子、渡邊あや

記録：細井絵理子

【主な議題】

1. マラヤ大学側担当者Ezlinaとのメール内容の報告（角田さんから）
2. 各自下調べした新しい取材先候補について
3. ワークショップの進め方及び成果物の扱いについて
4. 持参するサンプルの手配について
5. このプロジェクトの目的、到達点についての質問、意見交換
6. マレーシアツアーのスケジュール調整
7. 次回以降のミーティング日程について

【ミーティング内容】

1. マラヤ大学側担当者Ezlinaとのメール内容の報告

角田さんから前回のミーティングで出た質問内容をマラヤ大学のEzlineにメールしていただき、その回答（9/12に回答有り）内容を伝えていただきました。

《Ezlineからのメールを転載します》

Sent: Wednesday, September 12, 2012 4:08 PM

Subject: Re: November 21, 2012 - Presentation by IIDA Japan Chapter

Deat Kayoko,

thank you for your email. My answers to your question are as follows:

1)　Will the students understand Enlish?　Will English be our mutual language?

Yes, they will. Most lectures at the university are done in English. English is the preferred medium.

1.マラヤ大学側担当者Ezlinaとのメール内容の報告

2)　What age would be the students?

Most of the students will be a mix of 20-25 years of age and possibly a small number of more mature students below 30.

3)　Will there be others besides the students?　We would be delighted to have the professors and staff of the University.　Also, will it be possible to ask people from outside to come to the presentaion?　I have some friends working in architectural offices in K.L. who would be interested to attend.

Yes, we are considering inviting professionals (I'm cc'ing Lim Take Bane who is the Director of Publications & Media for Malaysian Institute of Interior Designers), fellow lecturers and professors. Yes you may invite you friends to join the programme.

4)　As written in our proposal, we would like to exchange culture by doing a workshop with the students.　We would like to ask the attending students to bring the things asked in our proposal.　Will it be possible to do that?　Will the students try to find these things and bring them to the workshop?

Based on your proposed timing, we have no problem with you holding a short hands-on workshop during the lecture to foster a better understanding of the subject of interest. I'm sure the students may cooperate if given notice in good time.

I will go through the information you sent us together with Mr Zunaibi and will get back to you if we have further query.

Regards

Ezlina.

2. 新しい取材先候補について

以下の7物件がメンバーから取材先候補として上がりました。（新物件、リノベーション物件、和洋折衷例のホテルなど）

提案者（もしくはコネクションがある人）が次回ミーティングまでに取材（写真提供）が可能か問い合わせるなどし、9/26までに一度メールにて中間報告をする。と決定しました。

2. 新しい取材先候補について

a. 御宿 the earth（丹羽さん）

※丹羽さん9/23宿泊予定　写真撮影及び取材可能か確認

http://www.the-earth.in/

b. 山代温泉　あらや滔々庵（栗原さん）

※障子のデザイン等魅力的

http://www.araya-totoan.com/

c. リバーリトリート雅楽倶（渡邊さん）

http://www.garaku.co.jp/

d. ザ・リッツ・カールトン沖縄 喜瀬別邸（五十嵐さん）

※2012年9月14日の五十嵐さんからのメール報告をご参照下さい。

http://www.ritzcarlton.com/ja/Properties/Okinawa/Default.htm

e. 石山離宮 五足のくつ（原口さん)

http://www.rikyu5.jp/

f. 東京ステーションホテル（細井）

※9/7取材済み　和洋折衷例としての紹介が可能か次回協議

http://www.tokyostationhotel.jp/

g. 富士屋ホテル（丹羽さん）

※ 丹羽さんに写真手配が可能か確認をお願い致しました。

http://www.fujiyahotel.jp/

h. 日光金谷ホテル（細井）

http://www.kanayahotel.co.jp/

3. ワークショップの進め方及び成果物の扱いについて

学生は20～25歳が中心であること。恐らく建築学科の学生ではないか（この件については確認が取れました。詳細は別途報告します）ということなどから、様々な意見が出されました。写真資料や素材サンプルを準備しておき、“和亜折衷”コラージュの作成や前回意見が出されたホテルのアクセントウォールデザインで良いか等、細かな点についても意見が出されました。

まずは、再度マラヤ大学側に「生徒の学部、専攻内容」「参加予定人数」の確認をすること。そして成果物については、可能であれば日本にも持ち帰り、報告会やイベント等で展示出来る形にすることが決まりました。それを受け、A2ボードを下準備し、それにウォールデザインのスケッチと素材サンプルのコラージュ（カラースキームボードをイメージ）をしてもらうやり方を第一候補として意見をまとめました。（ボードは後に額装出来るようにする）

4. 持参するサンプルの手配について

下記素材を中心に集めることが決まりました。

各自、協力してサンプル収集をスタート。重複しないようメールで途中経過を報告し合うことに。

【素材候補】

和紙：杉原商店　もしくは　川島企画等／児島さんに協力依頼（安東さんから連絡）

漆　柿渋　等：木曽アルテック／細井

畳表：栗原さん（9/13サンプルゲットと報告有り）

襖紙：栗原さんが確認中

組子：栃木県鹿沼／高桑さん

織物：着物地をサンプルとして使用／鬼頭さん、角田さんから寄付

その他、持っていきたい素材、手配出来そうな素材がありましたら、メールでお知らせ下さい。

よろしくお願い致します。

5. このプロジェクトの目的、到達点についての質問、意見交換

鬼頭さんから、マレーシアでのプロジェクトを通して、またその後、何を目的に何を成果として求め、活動していくのか、というご質問が出ました。そこで角田さんと細井から、このプロジェクトの発足の経緯や目的についてお話をさせていただきました。

以前メールでお送りした概要書やWEBに掲載されているプロジェクト概要にも記載がありますが、今一度ここに整理致します。

① 日本から世界へ　デザイン発信をIIDA Japan Chapterから行う。

日本の文化やデザインが海外のデザイナーの手によって生まれ変わり発表される現在の状況への危惧。私達日本人デザイナーが自ら日本の伝統やデザイン、素材を掘り起こすことの重要性。個人ではなかなか適わない世界への発信を、IIDA Japan Chapterという組織だからこそ出来ることと考えています。

② アジアとのコラボレーションを“和亜折衷”をテーマに

IIDAはアメリカを本部に持つデザイン協会ですが、日本は地理的にも距離があり、なかなかアメリカのプログラムに直接参加したり、共同企画を組む等の活動が出来にくい状況にあります。そこで、国際的なデザイナーの組織としてこれからの日本支部をより発展させるために、独自にアジア各国との協力関係の構築、共同企画を進めていくことを、2011年７月の理事会で決議しました。

アジア各国のデザイン協会や教育機関、企業等との協力関係構築の足がかりとして、2009年にアメリカで発表したIIDA Japan Chapterの“RYOKANセミナー”を用い、日本と各国とのデザインコラボレーション企画を推進することになりました。そのテーマは“和亜折衷”。新しいデザイントレンドとして世界に発信していくテーマとして、様々なプロジェクト活動を通して大きく育てていこうと考えています。

③ プロジェクトに参加する意義

■ 視野を広げるチャンス

日本のデザイン分野における伝統や最新の素材、デザインに触れる機会となり、また、アジア各国とのコミュニケーションを通して他国のデザイン潮流を知る機会となる。

■ 新しい人間関係、交流

日本支部会員同士の交流はもちろん、各国で活躍するデザイナーや企業との接点が生まれます。

■ 活動テーマ“和亜折衷”を通して、新しいビジネスチャンスの開拓

個人としては、この活動を通して新しい人間関係の構築をすることで、新しいビジネスチャンスに出会う可能性が広がるでしょう。

また、組織としての新しい可能性も視野に入れています。

現在、IIDA Japan Chapterは日本国内では非営利団体ですが、将来、この活動を通して新しいビジネスの機会が生じる可能性があります。日本支部メンバーをこの活動を通じて各国の企業に紹介したり、新たなプロジェクトを立ち上げたり、他のプロジェクトの要請に応じて人材、技術協力を行う等、会員の新しい仕事の機会を生み出す可能性を視野に入れています。

6. マレーシアツアーのスケジュール調整

マラヤ大学でのプレゼンテーション&ワークショップ　11月21日（水）午後1:00～3:30

（時間変更について　9/21にEzlinaより角田さん宛にメール有り）

□IIDA Japan Chapter主催ツアー

日程：2012年11月20日（火）～11月24日（土）を予定

内容：調整中

旅行社：Jワールドトラベル（IIDAの過去のデザイン視察ツアーの実績有り）

7. 次回以降のミーティング日程について

※9／26（水）メールでの中間報告予定日

第３回　10／10（水）19:00～

第４回　10／23（火）　もしくは　10／24（水）

第５回　11／6（火）持参サンプル確認、ワークショップ用ボード準備

第６回　11／13（火）最終リハーサル

10月、11月のミーティングの日程調整および開始時間の調整を行います。

皆さんのご意見、ご都合をお知らせ下さい。